

## 講義概要：再就業プログラム

☆下記、9科目は必ず受講ください（必須科目）

	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
	開講式・ガイダンス含む	2023	1.5	対面/ オンライン	8/7 10:00～11:30	プログラムの受講の仕方、インターンシップ、ナースセンターへの登録、再就業支援体制などについて説明いたします。	
1	最新の母子保健の動向及び県の取組	2023	2	オンデマンド		本科目では、地域で母子保健活動を行う上での基礎知識として、母子保健に関する統計データなどについて概観し、こども家庭庁創設をはじめ、日本における最新の母子保健の動向や、母子保健制度、母子保健施策について解説します。また、近年の母子保健法的主要改正と都道府県（保健所）および市町村の役割についてのべ、子育て世帯包括支援センターの全国展開、産前・産後サポート事業等について解説します。そのなかで、現在佐賀県が取り組んでいる「佐賀県版ネウボラ」の取り組みについて紹介しながら、母子保健の課題、妊娠期からの切れ目ない相談の取り組み、今後について一緒に考えていきましょう。	
2	市町における母子保健の取組	2023	1	オンデマンド		目標：佐賀県の母子保健の現状と課題、妊娠期からの切れ目のない相談支援の取組、今後について理解する	○

	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
3	周産期のメンタルヘルス	2022	2	オンデマンド		<p>この講義では、産前産後の女性の心身にどのような変化が起き、どのような精神状態にあるのか、より具体的にイメージをもち、理解を深めていくことを目標としています。</p> <p>また業務に活かせるよう、産後うつスクリーニング時の注意点、佐賀県の産婦人科と精神科連携の取り組みの中での心理士の活動について等、国内、県内の支援体制についての実際についても学んでいきます。周産期のメンタルヘルスは、子どもの健全な発達にも大きな影響があります。その子どもが大人になった時の精神状態の安定にも繋がっていくことを意識し、周産期のメンタルヘルスケアに関わる重要性について一緒に考えていきたいと思えます。</p> <p>目標 佐賀県の周産期メンタルヘルスの現状と支援体制、実際について理解する</p>	○
4	家庭訪問の計画実施評価	2022	2	オンデマンド		<p>母子保健法第11条に規定されている新生児訪問指導ですが、近年では「新生児産婦訪問」「母子訪問」「訪問型母子ケア」等と呼ばれ、産後4か月未満の乳児とその母親を対象としているところが多いようです。</p> <p>現在は、母親の心身の不調や産後うつ等を防ぐために、母子への心身のケアや育児サポート等が求められますが、産後はケアの実施に空白や切れ目が生じやすい時期です。新生児訪問を受けた人は、専門職による家庭訪問のニーズが高くなることが報告されています。つまり産後早期の家庭訪問は、切れ目ない支援の第一歩です。</p> <p>目標：産後早期の母子について知識を深め、家庭訪問指導の計画、実施、評価の仕方を理解する。</p>	

	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
5	助産に役立つガイドライン	2023	2	オンデマンド		<p>助産分野のガイドラインとしては、WHOが1996年に"Care in normal birth: a practical guide"を（WHOの59カ条お産のケア実践ガイド、農文協、1997）出版し、大きな話題になりました。その後、日本国内でも、助産ケアに必要なガイドラインが複数出ています。そこで、本科目では、ガイドラインとは何か、そして助産関連のガイドラインの基本でもある、ICMの目的、自律的な専門職、根拠に基づく実践、助産ケアの改善と質保証を説明した後に、現在助産に役立つと思われるガイドラインを紹介します。この機会に、実践のなかでガイドラインを使いこなせるようになりましょう。</p> <p>目標：            専門職に求められる根拠に基づく実践について理解する            事例（妊娠期、分娩期、産褥期・育児期）に応じて、産科・助産に関するガイドラインを活用できる。</p>	○
6	妊婦・褥婦の身体不調と理学療法	2022	2	オンデマンド		<p>腰痛や骨盤痛、腹直筋離開や尿もれなど妊婦・褥婦に出現しやすい身体の不調と助産師が実践で導入可能な理学療法について学習します。病態理解や身体機能評価、運動療法、リスク管理についてエビデンスを基に実践できるようにプログラムを構成しています。早期より妊婦・褥婦の身体不調に対応できる知識を深め、臨床に活用ください。</p>	
7	新生児のフィジカルアセスメントとケア	2022	2	オンデマンド		<p>早期新生児の身体は大きく変化します。出生後の新生児の身体にどのような変化が起きるのか理解し、ケアの必要性について考えてみましょう。</p> <p>目標            早期新生児期の身体の変化について理解し、必要なケアについて考えることができる。</p>	

	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
8	授乳開始から卒乳までの支援	2022	2	オンデマンド		分娩後のskin to skin careを含む授乳の開始から授乳の終了の卒乳（乳離れ）までの現状を解説します。授乳中の乳房管理については、主な乳房トラブルとその背景について皆さんと振り返りを行います。特に、産後早期の乳房の解剖・生理学的変化については、授乳（搾乳）前後の超音波画像の変化を解説し、その後に生じるトラブル予防の対策を皆さんとともに考えます。最近、授乳中に母親から聞かれる不快性射乳反射についても、現在まで、わかっているところを説明します。 目標：母乳育児を行っている母親の困りごとについて、根拠をもって説明ができる。	○
9	地域母子保健インターンシップ： 妊娠届時面接	2023	2	現地	9～10月個別調	地域母子保健活動に必要な妊娠届出、母子健康手帳の交付は、相談支援（例えば、妊娠中の健康管理、子育ての準備、家族やパートナーとの関係など）のきっかとして重要であり、子育て期までの継続支援の第一歩です。支援が必要な家庭を早期に把握し、妊娠中や出産後早期から支援するための仕組み（子育て世代包括支援）について、見学を通して学んでください。見学を通しての学び、気づき、今後深めたいことを指導者に伝え、助言を受けてください。 ※インターンシップは、神崎市、小城市、武雄市の協力を得て実施します。	
10	地域母子保健インターンシップ： 母子訪問、乳児相談	2023	4	現地	9～11月個別調	妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援のうちの、新生児（母子）訪問、乳児相談などの支援事業について見学をします。新生児（母子）訪問では、保健師/助産師と一緒に家庭訪問を行います。訪問は対象者の同意を得る必要があるため、日程の調整が必要になることを了承ください。見学を通しての学び、気づき、今後深めたいことを指導者に伝え、助言を受けてください。 ※インターンシップは、神崎市、小城市、武雄市の協力を得て実施します。インターンシップの前に、「最新の母子保健の動向及び県の取組」「市町における母子保健の取組」「周産期のメンタルヘルス」「家庭訪問の計画実施評価」は受講を済ませておいてください。	

	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
11	地域母子保健インターンシップ： 成果報告会	2023	1	対面	10/23 10:00~11:00	市で実施した、妊娠届出時面談・新生児（母子）訪問・乳児相談などでのインターンシップに続く科目です。インターンシップで経験した内容、気づき、学び、感想などを発表します。市町でのインターンシップの経験を振り返り、それらを受講者である仲間と共有することで、地域母子保健活動に必要なこと、わからないこと、今後にどのように生かすかなどを深めることができます。 成果報告会の準備がスムーズにできるようにサポートしますので、安心して参加してください。	
	修了式		1	対面	10/23 11:00~12:00	インターンシップの成果報告会に引き続き、修了式を実施いたします。	

☆下記より9科目以上選択してください

	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
1	多職種連携を促進するファシリテーション技術	2023	3	対面	8/28 9:00~12:00	会議、研修、ワークショップ、チームづくりなど多様な人々との相互作用を通じた関係づくりを進める「ファシリテーション」の基礎と現場実践へのつなぎ方を学びます。また、職場の業務や地域での活動を具体的に改善するヒントを一緒に探ります。 今回は対面で開催しますので、奮ってご参加ください。 【主な内容】 ・ファシリテーションとは ・ファシリテーターの役割とは ・ファシリテーションを活かした対話の場を体感する ・ファシリテーションを活かした現場事例紹介と実践へのアプローチ	

	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
2	みやき町産前産後サポートステーション	2023	2	オンデマンド		<p>NPO法人きゃんどうるハート（旧：心ゆるり）は、"みやき町より平成27年から産後ケア事業および利用者支援事業の委託を受け事業を実施してきました。</p> <p>現在、みやき町産前産後サポートステーションにおいて、妊産婦24時間助産師電話相談、産後ディサービス、乳房ケア、アウトリーチ乳房ケア、プレパママ学級、おんぶとだっこの練習会、伴走型支援事業の電話相談・対面相談の事業を実施し、妊産婦や乳児への切れ目のない支援を行っています。今回、みやき町産前産後サポートステーションにおいて行ってきた産前産後ケアサポート事業の実際を紹介させていただきます。また、助産師、看護師、保健師等多職種による連携の状況をお伝えしたいと思います。</p>	
3	産前産後オンライン相談	2023	2	オンデマンド		<p>コロナ渦で、母親・両親学級、家族の分娩立ち合い・付き添いができなくなったり、入院中の面会制限があったりなど、妊産婦や家族が孤立し、必要なケアを受けることができなくなりました。そのようななかで、日本各地で、産前産後のオンライン講座や相談事業が立ち上げられ、今では広く知れ渡っています。佐賀県でも2020年8月に一般社団法人ヘルスサポーターズイノベーション（his）を立ち上げ、オンライン相談、オンラインサロン（からだケア、子育て、こころケア、ライフデザイン、動画ライブラリ）、お役立ち情報、5秒でできるこころチャートのサービスなどを提供しています。今後、伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業拡大に向けて、オンライン相談、チャット相談などが組み入れられ始めています。どのようなサービスを提供すればよいか一緒に考えましょう。</p> <p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ hisの事業概要</li> <li>・ 産前産後オンライン相談、チャット相談の実際</li> <li>・ オンライン相談・メール相談・チャット相談のポイント</li> <li>・ 遠隔健康相談サービスを提供する際の注意点</li> </ul>	○

	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
4	産後尿失禁と骨盤底筋トレーニング 注) 対面は定員8名(先着順)	2023 2022	2	対面/オンデマンド	9/5 9:00~12:00	産後尿失禁の予防や軽減のための骨盤底筋トレーニングの基本知識・技術について学習します。また、骨盤底筋群の機能障害について学習し、骨盤底筋群の機能障害の評価や骨盤底筋の有効なトレーニングについて実技を交え学習します。	
5	新生児期からのアレルギー予防とスキンケア	2023	2	オンデマンド		<p>母親の7～9割が新生児や乳児の皮膚トラブルで悩み、アトピー性皮膚炎を心配しています。アトピー性皮膚炎の治療やケアについては、近年大きく変わってきており、新薬も相次いで承認されています。患者や家族のQOLも大きく改善することでしょう。その一方で、助産師不足、コロナ渦の影響などで、妊娠期や産後入院中の沐浴指導を行うところが少なくなり、沐浴やスキンケアに自信を持ってない親が増えているようです。</p> <p>乳児湿疹には、脂漏性皮膚炎、接触性皮膚炎（よだれやおむつかぶれ）、乳児アトピー性皮膚炎が含まれます。これらを区別するのは難しく、生まれたときからスキンケアし、アトピー性皮膚炎の発症を予防することが必要です。スキンケアの基本は変わりませんが、沐浴だけでもアウトバス、シャワー浴など新たな方法が出てきています。対象の背景に応じて、より適切な方法を紹介できるようにしましょう。</p> <p>新生児期からのアレルギー予防を目指したスキンケアを行い、健康な肌づくりを広げましょう。</p> <p>目標：新生児期からのアレルギー予防をめざしたスキンケアの知識と技術について理解しケアに生かすことができる。</p>	○

	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
6	診療所における切れ目ない支援	2022	2	オンデマンド		<p>現代における妊産婦の環境は、核家族化や高齢出産、またコロナ禍等で、家族からの支援が少なく孤立した育児となりがちで、妊産婦の育児に対する戸惑いは大きくなっています。診療所では、正常な経過をたどる妊産婦を対象としていますが、ハイリスクの人だけでなく、誰もが支援が必要な時代です。妊娠中は、健診があり手厚い指導を受けられますが、出産後は医療機関との関りが薄くなり、初めての育児で戸惑う母親が多くいます。助産師の視点から子どもの成長だけでなく、親子を総合的に見守る支援は産婦人科にしかできない支援です。当院で行う、妊娠中から育児までの切れ目のない支援について紹介します。</p> <p>目標：診療所での妊娠期から産後までの母子支援の実際について学び、切れ目のない支援について考察する</p>	
7	妊娠糖尿病の管理	2022	2	オンデマンド		<p>妊娠糖尿病について、診断基準・病態・スクリーニング方法・周産期合併症・妊娠中の治療・管理（妊娠前・妊娠中・分娩中・産褥）・分娩後のフォローアップなどについて知識を深めます。</p>	○
8	早産児の発育と発達	2022	2	オンデマンド		<p>教育目標</p> <p>早産児における新生児～乳児期の発育・発達を評価でき、日常生活での病気や事故の予防について学びます。また在宅ケアが必要に児においてもその病態を理解し、家庭や地域での支援について学びます。</p> <p>学習内容</p> <p>早産児の発達，発育についての考え方</p> <p>早産児および医療的ケア児で注意する病気，事故についての基礎知識</p>	○



	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
9	NICUにおける退院支援	2022	2	オンデマンド		出生後早期からの退院後の育児を見据えた看護支援は重要です。FCC（Family-Centered Care；家族中心のケア）の理念に基づき、家族と協働し意思決定に寄り添いながら他職種連携を強化する必要性について学びます。また退院後の母親の育児や療養生活を安心安全なものにするために退院準備期の個別的支援は重要です。	○
10	健康障がいを持つ子どもと家族への支援	2023	2	オンデマンド		地域で生活する健康障がいをもつ子どもと家族、医療的ケア児等の子どもの就園支援の事例で考えます。 「すべての子どもと一緒に生活することを当たり前」になり、「いないことがおかしい」と感じる社会につなげる学びの時間にしましょう。	
11	医療的ケア児とその家族に対する支援	2022	2	オンデマンド		2021年「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されました。在宅で生活する医療的ケア児は増加していますが、私たち助産師は医療的ケア児とそのご家族の状況を知る機会が少ないのではないのでしょうか。この講義では、日本の医療的ケア児とその家族の現状をお伝えします。助産師としてどのような支援が可能か一緒に考えてみませんか。また、海外の医療的ケア児の状況も少々ご紹介出来たらと思います。	○
12	精神疾患を持つ妊産婦のケア	2022	2	オンデマンド		社会的ハイリスク妊産婦の重要な背景因子の1つとして、メンタルヘルスの不調が挙げられています。母親のメンタルヘルス不調は、母親自身の問題のみならず子どもの心身の成長発達に大きな影響を及ぼし、さらには養育不全や児童虐待のリスクにもつながります。そのため、メンタルヘルス不調に対するアセスメントと適切なケアの実施が重要になります。本科目では、まず、妊娠をする可能性のある年代の女性に多い精神疾患とされる統合失調症、双極性障害、うつ病、発達障害、てんかんをもつ妊産婦についての理解を深め、症状悪化の早期発見と早期介入につなげることを目指します。	○

	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
13	不妊治療を経験した女性へのケア	2022	2	オンデマンド		日本は、世界で最も安全に出産ができる国になって久しいですが、不妊治療（体外受精や顕微授精）で生まれる子どもの割合は14人に1人となり、年々増加しています。不妊治療中にうつ状態を経験している方や、‘出産しても私は不妊…’という思いが消えない方もおり、リプロダクティブヘルスに関する課題が山積しています。この科目では、不妊治療を経験した妊産婦さんの心理を概説し、妊娠・出産・育児期のケアについて皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。	○
14	女性に対する暴力予防支援	2023	2	オンデマンド		暴力は、私たちの身近なところでも起きている人権侵害です。私たちは被害者にも加害者にも傍観者にもならないことが大切です。暴力をなくすためには、性別に隔たりなく多くの人と関係を持ち、対等な人間関係を築くことが必要です。暴力の一つにDVがあり、ジェンダーが大きく関わっています。SDGs目標達成のカギはジェンダー平等です。世界を変革させ誰一人取り残さないことが基本的考え方です。また、DVが起きている家庭では、子どもに対する暴力が同時に行われている場合があります。DVや児童虐待を予防するためには、DV等暴力とは何か、妊産婦へのDVについても知ることが重要です。	○
15	子どもの虐待予防	2022	2	オンデマンド		児童虐待相談対応件数は年々増加しており、子どもの命が奪われるなどの重大事件も後を絶たないなど、深刻な社会問題となっています。佐賀市における虐待の現状及び支援体制、関係機関と連携した対応など、子どもが適切な養育を受け、健やかな成長・発達・自立が図られることめざした取り組みについて紹介します。	

	科目	年度	時間	講義形式	対面講義日時	概要	講義資料
16	外国人の妊産婦ケア	2022	2	オンデマンド		<p>外国人労働者が増え続けています。若い男性、女性ともに働き、暮らしていく中で当然結婚したり、子どもができたりすることがあります。平成29年に両親が外国人である子どもの出生数は16,666人でした。平成21年より約35%増加していき、生まれてくる子どもの国籍は様々です。妊産婦のケアをする助産師に日本に住む外国人の背景に関する情報や高い異文化理解や、母子手帳等の多言語資料の活用、外国語の使用若しくは医療通訳者と一緒にケアをすることが求められます。</p> <p>本科目の目的は、</p> <p>①外国人妊産婦の背景を理解した上で必要な異文化配慮について考察する。</p> <p>②日本語が不自由な外国人妊産婦とのコミュニケーションの工夫について考える。</p>	○
17	災害時の妊産婦への対応	2022	2	オンデマンド		<p>災害発生時にすべてのスタッフが災害マニュアルの内容や対応を完全に理解して行動に移すことは難しいものです。防災訓練の必要性や災害発生時に最低限必要な行動を簡単かつ具体的に示したアクションカード、平時からの備えについて皆さんと一緒に考えていきたいと思います。</p> <p>目標：災害医療対応の原則CSCATTTについて学び、分娩施設における災害時の妊産婦への対応について理解を深めることができる。</p>	○